

農林水産省環境報告書 2008 の発行にあたって

私たちの地球を取り巻く環境問題は、温暖化の進展、生物多様性の喪失、資源の枯渇など、日常生活や様々な事業活動と密接に関連しています。特に食を支える農林水産業は自然の循環機能と持続性の上に営まれており、地球環境の悪化は農林水産業に多大なる影響を与えます。

これらの問題に対しては、例えば、高温に対応した水稲の新品種の開発、農林水産業を通じた生息環境の改善による新潟県佐渡島でのトキの放鳥実現など、多くの関係者が一丸となってその解決に向けて取り組んでおり、これらをさらに広げていくことが重要です。

農林水産省としては、環境保全型農業をはじめとする生物多様性保全を重視した施策、森林吸収源対策や温暖化適応策などの地球温暖化対策、国産バイオ燃料の生産拡大など資源・環境対策を積極的に推進しているところです。また、農林水産省庁舎における省エネルギーやリサイクル等にも取り組んでいます。

本報告書は、これらの農林水産省における取組についてとりまとめたものです。この報告書をご覧いただき、農林水産業と環境との関わりについてお考えいただくとともに、皆様からのご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 21 年 1 月

事務次官 井出 道雄